

1 次の英文には、文法上取り除かなければならない語が1語ある。その語を記せ。 [05年]

In the early years of the 21st century the trend toward the unisex look had reached so advanced from a state that it was almost impossible to distinguish males and females unless they were completely unclothed.

**Notes** unisex 「男女兼用の」 unclothed 「衣類を身につけていない」

### 研究 2

この問題も、意味も考えず、漫然と語句だけを追っているような方法では皆目見当がつかせません。あらためて構造・意味を確認してみましょう。

{ In the early years of the 21st century }

副詞句: 「21世紀当初の数年間において」

the trend { toward the unisex look }

名詞 = S: 「男女兼用の服装に向かう傾向は」

had reached so advanced from a state

他動詞 = V: 「すでに…に達していた」→ 目的語は?

ここで、他動詞 reach (～に到達する) の目的語が何かという問題に遭遇します。これは英文読解の初歩中の初歩にあたる事項ですが、「名詞」という品詞の文中における働きは以下の通りです。

- ▶ (1) ① 動詞の主語 ② 目的語 ③ 補語 ④ 前置詞の目的語  
のいずれかとして機能する  
(2) (接続詞や関係詞を伴う場合を別にして) ①、②、③、④の働きを同時に兼ねることはできない

この場合、reached の目的語は後続の state (状態) と考えるしかありませんが、state には from という前置詞がついています。(2) の原則にしたがって、名詞は (1) に示した2つの働きを同時に兼ねることはできません。

となれば、from という前置詞を消去することで、state を他動詞 reach の目的語

と考えれば、構造だけでなく文意も問題なく通ります。つまり、結論 (= 消去すべき語) は from ということになります。直前の advanced に気を取られて、advanced from a state で「ある状態から進化した」などと考えた人は、ここでも英語を左から読まずに語句を拾い読みしている状態から抜けきれていないということになります。

ここで、もう1つ知っておくべき基礎文法は不定冠詞の位置です。

so は形容詞を直後に引き寄せるために、本来なら、〈a / an + 形容詞 + 名詞〉となるところが、〈so 形容詞 + a / an 名詞〉という語順になることは必須の知識です。

2 書き出し部分につながるものとして適当なものを下から選べ。 [82年]

His written work has been done

A in such a loose way that I reject to read it.

I in so careless a manner that I refuse to read it.

U in a rough way that makes me impossible to read it.

E in a manner that makes it unable for me to read it

### 研究 2

選択肢のどれもがもっともらしい英文ですが、正解はイ (in so careless a manner that I refuse to read it.) です。この so 以下は前問と同じ語順ですが、ここでは that 以下と、いわゆる so ... that 構文 (非常に...なので～) を形成しています。A (reject) は後続に to 不定詞の目的語は不可、U (impossible) は「人間」を主語にすることができません。逆に、E (unable) の主語は原則として「人間」です。なお、この so と同様な性質の副詞に as / too / how(ever) / that (そんなに) があります。

## それが真相!

各品詞の文中における働きに注意して、文意を取るのが英文読解の基本

👉 一文一文の解釈が正確にできてこそその英文読解!

**解答** 1 from 2 イ

**訳例** 1 21世紀当初の数年間で、男女どちらでも着られる服装への傾向はすでに高度な段階に達していたため、丸裸でもない限り男女の区別をすることは不可能に近いものがあつた。  
2 彼の著作は軽率に書かれていたので、私は読むのを拒否した。